入出庫入力・棚卸

1.入出庫入力

倉庫別の商品在庫数を増減できます。倉庫間移動も可能です。
※新規登録・修正・削除、キー操作方法などは「伝票入力画面　共通基本操作」を参照してください。

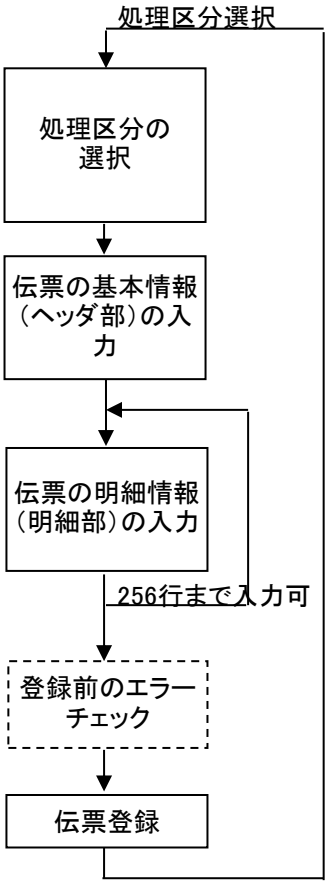
Point

・入出庫入力することにより、以下の業務が可能となります。
① 売掛や買掛などの発生なしで、商品の在庫数増減が可能。

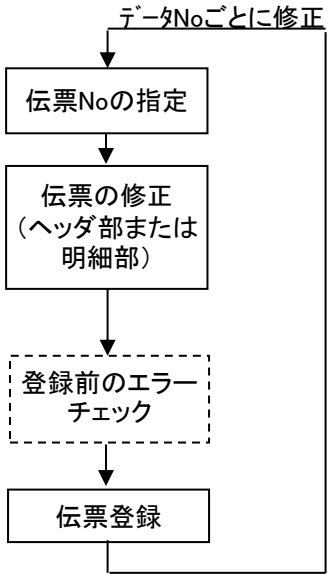
② 倉庫間移動による商品の在庫数増減が可能。

1） 入出庫入力の操作の流れ

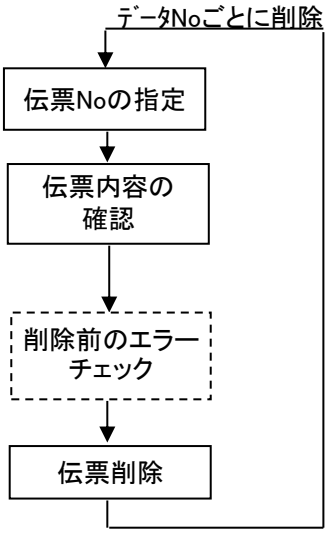
ⅰ）新規登録



ⅱ）伝票修正



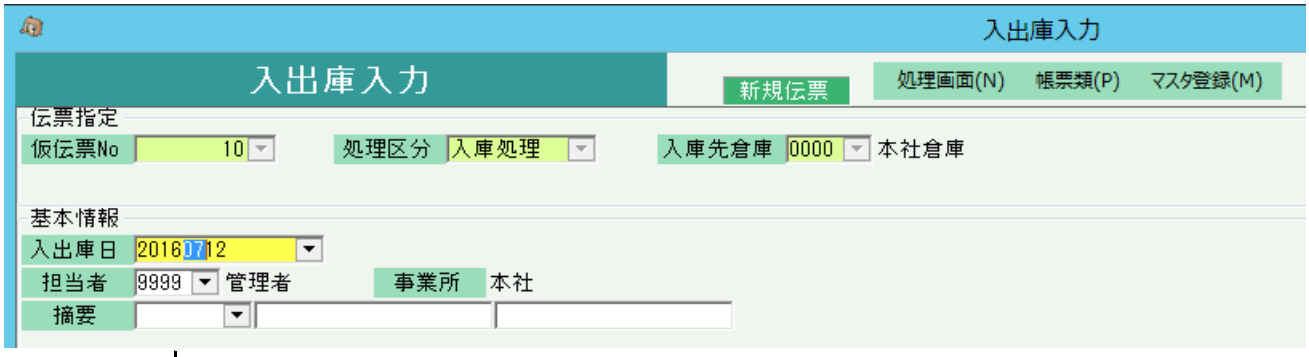
ⅲ）伝票削除



※入出庫伝票は伝票Noは重複可能ですので、
同じ伝票Noが存在した場合は、伝票一覧が自動で表示されます。
表示された中から対象となる伝票を選択します。

2） 基本情報（ヘッダ部） 項目の説明

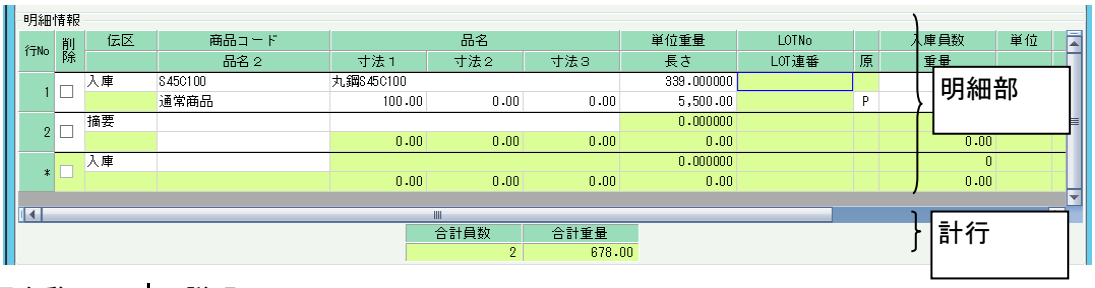
入力画面の上部にある基本情報をヘッダ部と呼びます。
ヘッダ部には、1伝票共通で設定できる項目が表示され、入力することができます。



項目名称	説明
伝票No	入出庫伝票Noです。 採番管理登録の設定内容によっては重複することもあります。
処理区分	入庫、出庫、倉庫間移動、在庫振替から選択します。 棚卸で作成された棚卸差異伝票は自動的に出庫伝票となります。
入庫倉庫	処理区分が入庫処理または倉庫間移動の場合に指定できます。 入庫の倉庫を指定します。
出庫倉庫	処理区分が出庫処理または倉庫間移動の場合に指定できます。 出庫元の倉庫を指定します。
入出庫日	入出庫日（伝票日付）を入力します。 Point ・入出庫日には、運用設定で登録した入力期間制限を越える日付は指定できません。 伝票登録時にエラーチェックされます。
担当者	営業担当者を選択します。 初期表示される担当者は運用設定の登録内容により異なります。 当伝票がどの事業所の入出庫であるかは、担当者が所属する事業所で決定します。 事業所名は担当者横に表示されています。 事業所は伝票ごとに保持されていますので、登録後に担当者の所属する事業所が 変更となってもデータにセットされた事業所は変更となりません。
摘要ｺｰﾄﾞ 摘要名	摘要を指定します。 コード欄ではSpaceまたはF4キーにて摘要マスタを検索して選択可能。 摘要名は表示後に訂正可です。 Point ・摘要はマスタより選択しなくても任意の文字を直接入力することができます。 ・マスタより選択後に、摘要名を変更した場合、その内容は当伝票にのみ有効 です。マスタ内容は変更されません。

3） 明細情報（明細部） 項目の説明

入力画面の下部にある明細情報欄の入出庫する商品が指定できる箇所を明細部と呼びます。
明細部には、商品ごとに1伝票256行まで入力することができます。
各行を入力すると、画面下部の計行に各項目の総計が自動計算され表示されます。



項目名称	説明
行No	先頭から自動で行Noが付番される。 256行まで入力可能。 「＊」マークの行は、まだ何も入力されていない行。 右クリックして表示されるメニューより「倉庫別在庫一覧表」を選択すると 商品ごとの倉庫別在庫一覧が表示されます。
削除 （ボタン）	入力した行を削除する場合、この削除欄に マウスでチェックを入れます。 チェックを入れると行全体がグレー背景となり入力不可となります。 その状態で伝票登録すると、自動的に行削除されます。
伝区 （伝票区分）	選択した処理区分により以下の伝票区分が 自動的に指定されます。 ・入庫　・・・　入庫処理、在庫振替の場合に選択されます。 ・出庫　・・・　出庫処理、在庫振替の場合に選択されます。 ・入出庫　・・・　倉庫間移動の場合に選択されます。 ・棚卸差　・・・　棚卸により作成された差異調整伝票です。 伝区「摘要」手入力で選択して入力可能です。 摘要の場合は、任意の文字列を品名に入力可能です。 品名欄でF4キー押下にて、摘要マスタから 選択できます。その場合、品名に摘要名が設定されます。
商品ｺｰﾄﾞ	入出庫する商品コードを入力します。伝区が「摘要」以外は入力必須です。 コードを直接手入力するか、SapceまたはF4キーにてマスター覧より選択することもできます。
品名	入出庫する商品名の補足情報を入力します。 商品ｺｰﾄﾞ選択時に商品マスタの品名２が初期表示されます。 表示後の訂正も可能です。 伝区が摘要やメモの場合は任意文字列を入力します。 品名２のタイトル名称は運用設定にて変更できます。
品名２ （型番、規格）	入出庫する商品名の補足情報を入力します。 商品ｺｰﾄﾞ選択時に商品マスタの品名２が初期表示されます。 表示後の訂正も可能です。 伝区が摘要の場合は任意文字列を入力します。 品名２のタイトル名称は運用設定にて変更できます。

項目名称	説明
寸法1～3 長さ	商品コード入力時にマスタに登録している寸法と長さ初期表示され、 表示後訂正可能です。 形状マスタに設定している重量計算区分に応じて単位重量が自動計算されます。
公差	寸法に対する公差を入力することができます。
単位重量	形状マスタに設定している重量計算区分に応じて自動計算されます。 表示後訂正も可能です。 重量計算区分が、「単位重量×員数」「単位重量×長さ×員数」の場合は商品マスタの 単位重量が表示されます。
倉庫	処理区分が在庫振替の場合に指定可能です。 伝区が「入庫」の場合は指定した倉庫の在庫が増加し、 「出庫」の場合は減少します。
LOTNo	商品マスタのLOT区分が「LOT商品」の場合に入力可能です。 伝区が「入庫」の場合、未入力で伝票を更新すると、 伝票日付yymmddとLOT連番の下3桁が設定されます。 伝区が「出庫」「入出庫」の場合は、登録済みのLOTNoの入力が必須となります。 手入力または、F4・Spaceキーで表示されるLOT別在庫一覧画面から選択することも可能です。 LOTNoを入力すると、LOT入荷時の情報（商品コード、入荷時寸法、入荷時単価）などを取得し 該当する明細項目の初期値として採用されます。
LOT連番	LOTNo入力時に自動表示されます。
原 （原単価区分）	P、Kのみ入力可能です。 商品マスタの原単価区分の値が初期表示されます。
員数	員数を入力します。 在庫管理する場合は員数入力がないと員数の在庫の増減はされません。 員数の小数以下桁数は、運用設定にて修正可能です。
重量	重量を入力します。 形状マスタの重量計算区分が「単位重量×長さ×員数」の場合は 単位重量×長さ×員数で自動計算され、 それ以外の場合は単位重量×員数で自動計算されます。 重量で在庫管理する場合は重量入力がないと在庫の増減はされません。 重量の小数以下桁数は、運用設定にて修正可能です。
単位	商品マスタの単位が初期表示されます。 手入力または単位マスタに登録した内容を選択することが可能です。

項目名称	説明
単価	伝区が出庫の場合、商品マスタの売上原価計算法が「標準原価」の場合は標準原価単価を 「最終仕入」「倉庫別移動平均」「月別総平均」「LOT原価」の場合は在庫単価が 初期表示されます。
在庫金額	明細原単価区分の値によって自動計算されます。 原単価区分「P」の場合： 単価×員数 原単価区分「K」の場合： 単価×重量
備考	明細行の備考として任意の文字列を入力できます。
ミルシート	商品マスタのLOT区分が「LOT商品」の場合に入力可能です。
マーク （ボタン）	マークをマウスでクリックし、チェック状態にすることで 明細行にマーク(印)をつけておくことができます。 入出庫明細表の絞り込み条件にて、マーク（全て、有り、無し）を選択して 出力することができます。
種別	商品マスタに設定してある商品種別（入出庫）が初期表示されます。 表示後の変更も可能です。 リストには商品種別マスタで「入出庫（表示）」に「使用する」を設定している種別が 表示されます。 種別ごとにデータ集計したい場合などに利用できます。 Point ・選択変更した場合は当伝票にのみ有効です。商品マスタは変更されません。

4） 明細情報（計行） 項目の説明
明細部の下に横並びに表示されている箇所を、計行と呼びます。
計行では入力できる項目はありません。明細部の情報を集計して、その結果を表示します。

※以下、下線（緑字）の項目は伝票機能にて、使用する、しないを選択できるものです。
詳細は「伝票機能設定」マニュアルを参照してください。

項目名称	説明
合計員数	伝票の合計員数を表示します。
合計数量	伝票の合計数量を表示します。

5） その他補足事項

・倉庫間移動した場合は、入出庫明細表では、入庫倉庫の明細行に「入庫」、出庫倉庫の明細行に「出庫」として2行出力されます。処理区分には「倉庫間移動」と出力されます。
商品台帳では伝区に「入出庫」と出力されます。
また、商品在庫一覧表では、入庫数と出庫数どちらにも同じ数字がカウントされて出力されます。

・売上原価計算法で倉庫別移動平均を採用している場合、単価は以下の方式にて
リアルタイム処理で計算されます。（金額は全て税抜で倉庫別に計算）

（開始残高日、開始残高数量、開始残高金額は「システム管理」-「倉庫別商品登録」にて登録します。）

① 発生数量、発生金額の決定
発生数量 ＝ 開始残高日から期間開始日までの入出庫数計
発生金額 ＝ 開始残高日から期間開始日までの入出庫金額計

② 倉庫別移動平均単価の決定 員数の場合
倉庫別移動平均単価 ＝（開始残高金額 ＋ 発生金額）／（開始残高員数 ＋ 発生員数）

※小数点以下の端数は商品マスタの金額端数設定に従う。
※倉庫別移動平均単価や最終仕入単価が0の場合は、標準原価単価が採用される。
※倉庫間移動の場合は、出庫元倉庫の金額が採用される。

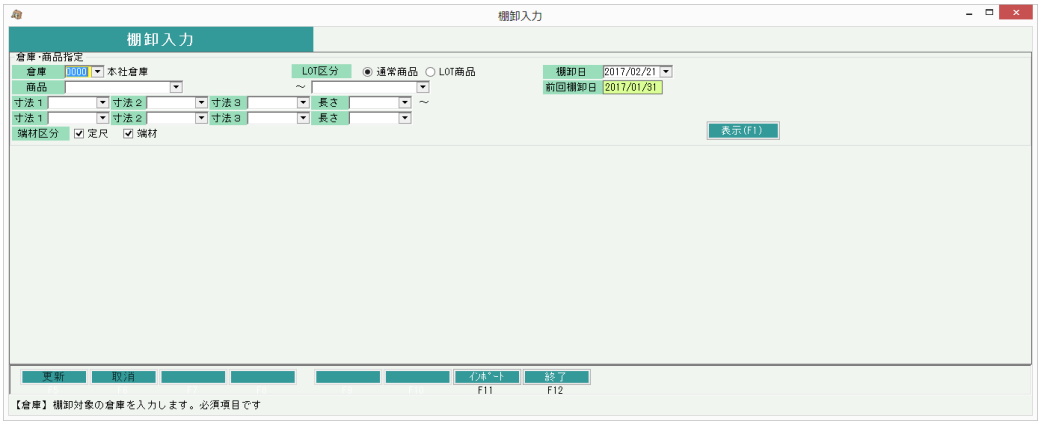
2.棚卸入力

実地棚卸数を倉庫別の商品別に入力できます。

Point

・棚卸入力した内容は商品台帳や棚卸リストで確認できます。
・登録した棚卸伝票は入出庫入力より修正することができます。
・差異数量≠0の商品のみ登録されます。

1） 棚卸入力手順



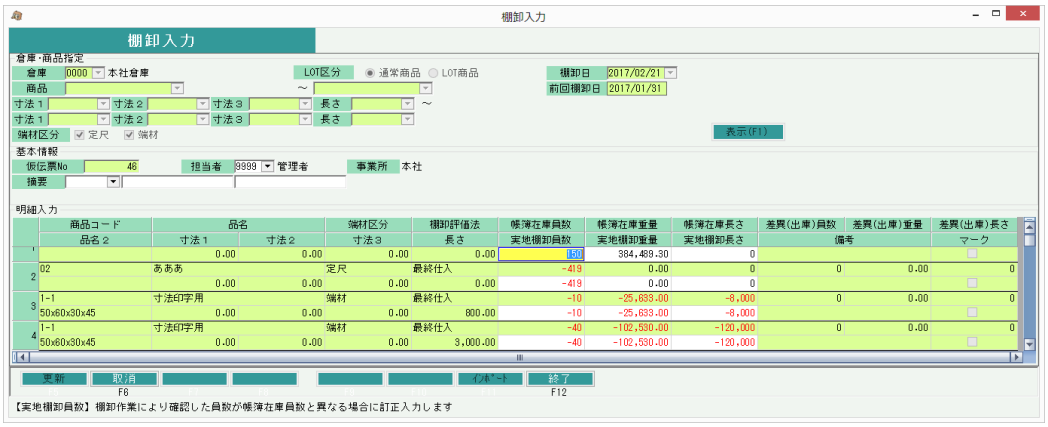
① 棚卸を実施する倉庫を選択します。

② LOT区分を選択します。(運用設定でLOT管理を行う設定の場合のみ選択可能です)

③ 商品を抜粋する場合、その範囲を指定します。

④ 棚卸日を年月日で指定します。

⑤ 「表示ボタン」を押すと指定した条件で商品の明細が表示されます。
（商品数が多い場合、表示されるまで長時間かかる場合があります）



⑥ 担当者は、倉庫マスタで指定されている担当者が初期表示されますが、変更可能です。
担当者はシステムが自動で作成する棚卸伝票の主担当者となり、入出庫伝票と同様、
この担当者の所属する事業所が、棚卸データの事業所の判別に使用されます。

⑦ 一覧には倉庫別の商品が表示されます。
実施棚卸の結果が、帳簿在庫数と異なる場合のみ、
「実地棚卸員数」、「実地棚卸重量」、「実地棚卸長さ」列に数値を入力してください。
入力した結果から棚卸差異数が自動計算され、差異の分だけ、棚卸伝票が自動で作成されます。

⑧ 実施棚卸金額は実施棚卸員数と在庫単価より自動計算されます。

⑨ 必要に応じて備考欄を入力します。備考欄の文字は商品台帳に印字されます。

⑩ 更新ボタンにて棚卸終了です。

※棚卸伝票は、差異の数値を出庫データとして作成します。
棚卸伝票の修正、削除を行う場合は、入出庫伝票から該当の伝票を呼び出します。

2） 棚卸入力の補足事項（重量の場合も同様）

・在庫単価は商品マスタの売上原価計算法により自動計算されます。
売上原価計算法で倉庫別移動平均を採用している場合、単価は以下の方式にて
リアルタイム処理で計算されます。（金額は全て税抜で倉庫別に計算）
（開始残高日、開始残高員数、開始残高金額は「システム管理」-「倉庫別商品登録」にて登録します。）

① 発生員数、発生金額の決定
発生員数 ＝ 開始残高日から期間開始日までの入出庫数計
発生金額 ＝ 開始残高日から期間開始日までの入出庫金額計

② 倉庫別移動平均単価の決定
倉庫別移動平均単価 ＝（開始残高金額 ＋ 発生金額）／（開始残高員数 ＋ 発生員数）

※小数以下の端数は商品マスタの金額端数設定に従う。
※倉庫別移動平均単価や最終仕入単価が0の場合は、標準原価単価が採用される。

・棚卸差異が0となっている行は棚卸伝票は作成されません。

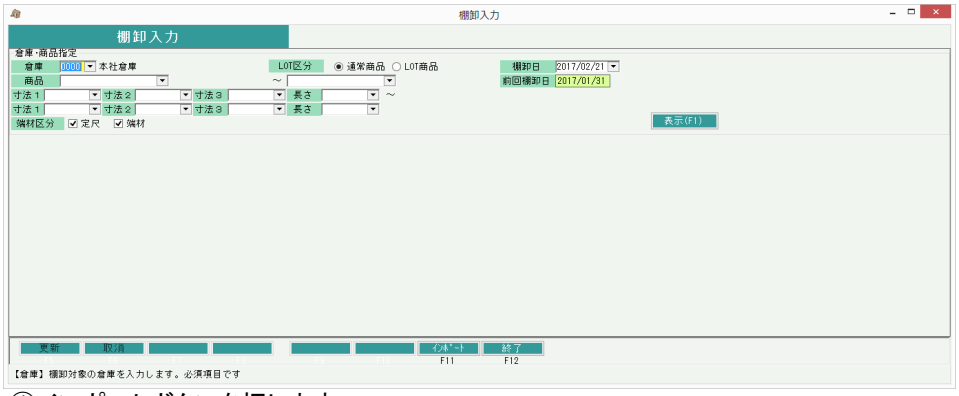
・棚卸した場合、商品台帳の伝区には「棚卸差」と出力されます。

・棚卸した場合、商品の員数や在庫金額は、棚卸の結果が強制的にセットされます。
在庫数・在庫金額計算に棚卸日から棚卸の数値で再スタートとなります。

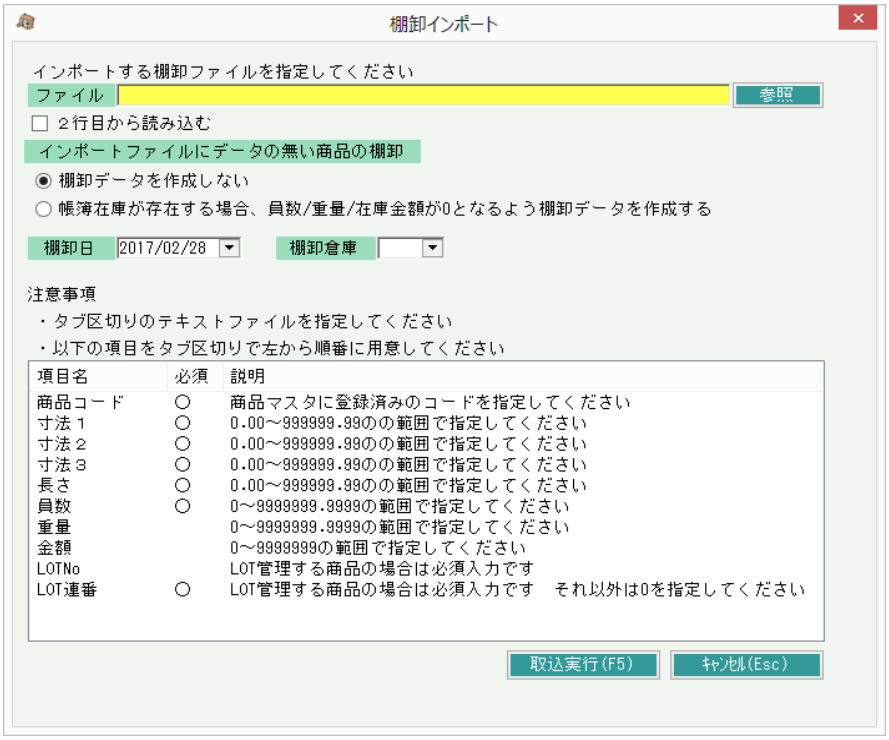
ただし、棚卸後に棚卸日以前の売上、入出庫伝票などを修正し在庫数が変動した場合は
員数を確認して、必要であれば再度棚卸入力を実施する必要があります。

・ ある倉庫の商品を抜粋して例えば2月末で棚卸した場合、同一倉庫にあるその他商品は
1月以前で棚卸日で棚卸ができません。（前回棚卸日と同一日以降なら棚卸可能です）

3） 棚卸インポート



①インポートボタンを押します。



②参照ボタンから、インポートするファイルを指定します。

③棚卸日を指定します。

④棚卸を行う棚卸倉庫を指定します。

⑤取込実行ボタンを押します。

Point

インポートファイルにデータの無い商品の棚卸
・棚卸データを作成しない
　インポートファイルにデータが無い商品については棚卸データは作成されません。
・帳簿在庫が存在する場合、員数/重量/在庫金額が0となるよう棚卸データを作成する
　インポートファイルにデータが無い商品は、員数、重量、金額が、
　0となるように棚卸データを作成します。

《インポートファイル作成時の注意事項》
タブ区切りのテキストデータで作成してください。
商品コード、寸法、長さ、員数は必ず指定してください。
LOT管理を行う場合は、採番済のLOTNo、LOT連番を指定してください。新規のLOTNoを指定することは出来ません。
運用設定でLOT管理を行わない設定にしている場合や、
LOT管理を行わない商品の場合でも、LOT連番は0固定で指定してください。